



優しい医療に 思わずほっこり

私は、約30年前にまだ鶴見小野にあった汐田総合病院の内科外来の代診を端緒とし、2001年1月から汐田診療所の内科外来担当の非常勤医師として従事し、2019年9月から、うしおだ診療所の副所長として勤務することになりました。本町通に新築移転して10周年目の2022年7月に3代目の所長を拜命し、とても光栄です。

当診療所は、「こころ」と「からだ」と「歯」の診断・治療のための総合医療センターであり、総合外来診療（内科、精神科、歯科、皮膚科、眼科、外科、脳外科、整形外科、泌尿器科）、デイケア（介護、認知症、精神）、健診、在宅診療（往診）に力を入れ、地域に根付いた包括的医療を展開しております。当診療所においてレントゲン、CT、エコー、心電図、採血、動脈硬化や認知症の検査が可能ですが、更なる精密検査や入院加療が必要な場合には汐田総合病院と綿密な連携を行っております。当診療所では高度な医療のなかに、思いやりや優しさが溢れる丁寧な診療を常に心がけております。生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症、痛風、腎臓病、胃潰瘍、呼吸器疾患、骨粗鬆症、がん）、歯科、脳卒中、認知症、メンタルケアのスペシャリストが層厚く揃っております。最近では、発熱外来と称して新型コロナの検査（抗原による迅速診断およびPCR）並びに、ワクチン接種（ファイザー社）を精力的に行っております。

我々は、約70年前に創設された前身の汐田診療所（現在の汐田総合病院）を経て、ここ鶴見地区の医療の草分け的存在として、患者様を第一に考え優しく寄り添いながら病気の治療に尽力してきました。また、「健康まつり」や「食料支援&何でも相談会」を定期的開催し、地域住民の健康増進、公衆衛生、福祉にも貢献して参りました。これからも地域の皆様のニーズに一早く応えるべく進化し続けていく所存です。我々スタッフ一丸となって、粉骨砕身頑張っておりますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



所長 渡部 琢也
博士（医学）

【職歴】

国立療養所中野病院 循環器科 研究員
昭和大学 第三内科学教室 助手
米国テキサス州立大学 医学部 循環器内科 博士研究員
昭和大学附属烏山病院 内科 専任講師
昭和大学 医学部 生化学教室 准教授
東京薬科大学 生命科学部 心血管医科学研究室 教授
昭和大学 医学部 糖尿病・代謝・内分泌内科学 客員教授

【研究業績】

動脈硬化、高血圧、糖尿病、虚血性心疾患、血管性認知症に関する医学英文論文120編以上、和文論文60編以上
International Journal of Molecular Sciences や Cells などの計20誌の国際医学雑誌の編集委員を現在も務める
詳細は、渡部 琢也 (Watanabe Takuya) - マイポータル-res
earchmap を参照

